

令和元年度事業報告書

令和元年6月1日から令和2年5月31日まで

一般社団法人鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab

【事業の成果】

当法人は、社会人や大学生空き時間・余暇時間をコミュニティ経由で地域課題解決のために活用することを目的として平成22年1月に設立し、平成23年7月6日に法人として登記した。

令和元年度は①地域密着型コミュニティの運営、②地域企業の社会的事業推進支援、③共生協働の地域社会づくりの担い手育成事業、コミュニティとビジネスの両面から地域支援を実施した。

① 地域密着型コミュニティの運営

旅する読書会 TabiDoku(通年)

これまで天文館地区を拠点として実施してきたTenDokuは、「旅するTenDoku」として鹿児島県内各地にお邪魔し、読書会を開催していく運用に変更。各地で読書会を通じたコミュニティ形成のきっかけづくりを行う。

「まちおもい“伝え隊！”育成事業」に係るワークショップ等企画運営業務(令和元年6月～令和2年3月)

鹿児島市 広報戦略室と連携し、市民などを対象としたワークショップ等を通して、自ら本市の魅力を発信したり、まちをより楽しく、居心地の良い場所にするなどの「まちを想う行動」ができる人材を育成することにより、シビックプライドの醸成と本市の多彩な魅力の発信につなげるプロジェクト「PLAY CITY! DAYS」を設計・実行し、鹿児島市を想う130名規模のコミュニティづくりを行った。

魅力ある商業空間創出マネージャー業務(令和元年5月～令和2年3月)

出水市 シティセールス課と連携し、出水市本町通り商店街を中心とした空き店舗活用や周辺地域との回遊性をつくるためのパンフレット作成等を通して、エリア全体のにぎわいづくりに取り組んだ。”

きりしまSwitch 横川未来研究室_KIRISHIMAみらい会議支援事業(令和元年6月～令和2年3月)

鹿児島県霧島市 企画政策課と連携し、横川地区を対象として民間企業、行政職員、団体、個人などの多様な主体が集まり、横川地区の課題・資源から見直し、課題解決に向けた小さな一歩をチーム制で踏み出す場を企画・運営。約30名の参加者とともに複数の企画の実行につなげた。

さつま町観光未来研究室_さつま町観光未来計画策定業務(平成31年4月～令和2年3月)

昨年度作成した観光未来計画をもとに、さらに実践に落としこむための学びの場として、県内各地の講師を招いた公開講座を実施。また観光特産品協会の新体制づくりとしての伴走を行った。

② 地域企業の社会的事業推進支援

MBC南日本放送 Radio Burn(通年)

MBC南日本放送のラジオ番組「Radio Burn」にレギュラーコメンテーターとして出演。ラジオを通してコミュニティをベースとする地域活性を推進している。

株式会社 ecommit(通年)

リユースの促進を通して地球環境保護と国内産業推進を目指す同社の経営企画部門業務を受託。当年度は資金調達、社内コミュニケーション、事業の PR などの全社戦略構築を支援した。

鹿児島Switch 未来企画室_NPO基盤強化事業(令和元年6月～令和2年3月)

鹿児島市 市民協働課と連携し、民間企業、NPO、行政職員が対等な対話を重ねながら地域の課題解決に向けて実践の場をつくるという会議を企画・運営。約 42 名の参加者とともに複数の具体的企画の実行につなげた。

南九州移住ドラフト会議 2019(令和元年 6 月～令和元年 12 月)

プロ野球のドラフト会議を見立てて、球団役として移住者を受け入れたい地域、選手役として移住志望者が参加。それぞれがプレゼンテーションを行い、指名会議で地域側が移住志望者を指名するもの。指名された移住希望者と、地域側には翌日から 1 年間の独占交渉権が生じるというプロジェクトを自主事業として実施。スポンサー企業として、株式会社ソラシドエアと連携。

③ 共生協働の地域社会づくりの担い手育成事業

鹿児島県内複数地域での協働型人材育成講座等の実施(通年)

鹿児島県共生協働推進課と連携した「地域づくり実践力養成事業」として、鹿児島市を開催地の中心とし、20 名を対象に、約半年間の講座を開催。他にも県内各地で協働の担い手としてのファシリテーション講座を開催した。

以上